

教育現場のキラリ～空知管内～

空知管内では、小・中学校、高等学校及び特別支援学校で様々な「キラリと光った取組」が行われています。今後も学校と家庭、地域と連携を広げ、それぞれ特色のある取組を生かし、空知の子ども達の健やかな成長を応援していきます。

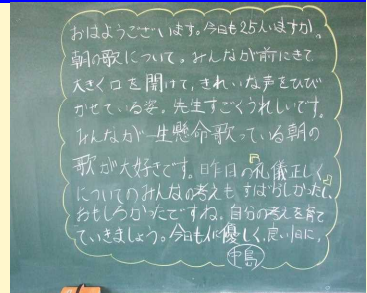
○ 美唄市立中央小学校の取組

児童のやる気を育む「教師の肯定的な言葉がけ」

美唄市立中央小学校では、学校全体で児童への「肯定的な言葉がけ」を関わりの基本姿勢として取り組んでいます。

本取組では、毎朝登校してくる児童に対して、学級担任から「肯定的な言葉がけ」を黒板に書いて伝えることにより、毎朝、児童が「どんなことが書かれているか」楽しみにするようになりました。

また、黒板に書く内容を教師が児童に対して思っている「嬉しい出来事」や「思い出に残ったエピソード」にすることにより「よりよい生き方を考え、行動する態度」や「自ら考えて責任ある気持ち」を育むことができる等、取組の成果が見られています。



【黒板に書いた言葉がけ】

○ 北海道美唄尚栄高等学校の取組

地元産食材を生かした「アスパラケーキ」

北海道美唄尚栄高等学校では、「美唄市の農産物を活用した特産品の開発」に取り組んでいます。

その取組の1つとして、市内の農園から規格外のアスパラガスの提供を受け、それを生地練り込んだパウンドケーキ「アスパラケーキ」を開発しました。総合学科の特色を生かし、家庭クラブの生徒がレシピを開発、農業クラブの生徒が製造を担当、工業クラブの生徒が木製のポップスタンスを作成、商業クラブの生徒が商品説明に関する配布物を作成するなど、役割分担して取り組みました。その他にも、市内スーパーで実施した4教科クラブ合同販売会においてアスパラケーキの試食・販売、活動内容の発表を行うなど、地域と連携した教育活動を進めるとともに、特産品の研究開発の成果を、食育活動として広く地域に還元しています。



【販売の様子】

○ 芦別市教育委員会の取組

子どもたちの生きる力を育む「あしべつ通学合宿」

芦別市では、市内2つの小学校4年生以上の児童を対象に、4泊5日の通学合宿を実施しています。

本事業では、異年齢集団の共同生活体験を通じ、互いの立場や役割を理解し協力し合う心を育むとともに、生活習慣の改善や生活技能の習得に成果が見られます。

昨年度は、子どもたちが通学合宿でお世話になった高齢者大学の方々に、紙クラフト作品にお礼の手紙を添えて贈り、受け取った皆さんが思わず涙を流す場面も見られました。本事業は、子どもたちの健やかな成長を促すだけでなく、子どもたちと地域の方の結びつきを強める効果も得られます。



【夕食づくりを教わる様子】